

まちづくり計画ができるまで

尾戸地区では、小・中学生や子育て世代の方、高齢の方など、たくさんの方が集まって『尾戸できばろう会』を令和3年11月～令和4年11月にかけて開催し、まちの未来について話し合ってきました。人口減少や少子化・高齢化など社会の状況は変化しますが、これからも暮らしやすいまちであり続けるために、住民のみなさんの想いをカタチにしたものがこのまちづくり計画です。

めざす将来像に向かって、毎年必要な取り組みを考え、実現していけるよう、みんなで一緒に取り組んでいきましょう！なお、このまちづくり計画は、必要に応じて見直しを行っていきます。

「尾戸できばろう会」の様子

第1回

- 尾戸地区についてみんなで話そう！

令和3年11月14日(日) 14:00～16:00



第2回

- どんなことができるか、みんなで話そう！

令和4年6月19日(土) 9:00～12:00



第3回

- まちづくり計画の案を確認し、将来像を考えよう！

令和4年11月27日(日) 9:00～11:30



☆小中学生へアンケートを実施

- 尾戸に暮らしていて感じることは？

期間：令和5年1月

これまでご協力いただいた団体のみなさま

琴海地区連合自治会、尾戸地区自治会、小口自治会、尾戸中央自治会、名串自治会、張岳自治会、老人会、中央区老人会、長浦小校区青少年育成連絡協議会、長浦小学校区子どもを守るネットワーク、琴海中学校育友会、長浦小学校育友会、琴海地区民生委員児童委員協議会、琴海中学校、長浦小学校、長崎市消防団第61分団、長崎市消防団第62分団、尾戸保育園、尾戸保育園保護者会、大村湾漁業協同組合、J A長崎せいひ琴海支部女性部、時津警察署少年補導員、琴海地区防犯防災協会、ペニンシュラオーナーズゴルフクラブ、尾戸ペーロン、尾戸海の家、琴海地域包括支援センター



尾戸まちづくり計画

尾戸のめざす将来像

"春夏秋冬"

おとなも子どももどなたでも
おいでよどらまちっく ODO

・発行元 尾戸まちづくり協議会

・発行日 令和5年10月

※尾戸まちづくり協議会とは？

尾戸地区で活動する自治会や育友会、消防団などのさまざまな団体や住民の皆さん同士が話し合い、チームとなって地域の様々な課題を解決するのが「尾戸まちづくり協議会」です。今後は、このまちづくり計画に基づいて、様々な活動を企画・実行していきます。

分野	現状	分野別の目指す未来	目指す未来のために必要な取り組み	
			既存の取組み	私たちにできること
地域振興	<ul style="list-style-type: none"> 一人暮らしが多い。増えた 子どもが少ない。 人口減少 若い人が尾戸を出ていく、地元に残ってほしい 高齢化世帯の増加、高齢化による独居 就職場所がない 産業がない 農業をする人が少ない。 高齢化で後継者がいない 魅力が伝わっていない 住みやすい ・地域のおじいちゃん・おばあちゃんたちが優しい 人が優しくて住みやすい町 ・住人同志の助け合いがあるところ 交通の便が悪く、病院や買い物不便である。 悪い事(不便)の改善が困難 きれいな場所が多い(特に花畑がきれい) コロナで自治会・子ども会活動がなくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キズナ、あいさつ、郷土愛がある町 ・人が集まり、若者が地域に関わりたいと思える町 ・きれいな町 	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸清掃 ・尾戸くんち(球技大会) ・ペーロン 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民全体の対応が欲しい。・住民を増やす努力をする。・尾戸の良さを周知して移住者を募る。・景観を良くして、尾戸の魅力をアップする。・家賃の安さを周知する。 ・SNSで発信する。 ・眺めを良くするために伐採をする。 ・荒地を貸し出す。 ・景観を良くする。・環境整備 ・特産品を作る(ジビエ等) →グランドゴルフや駐車場→草刈り、環境整備 ・子ども会を立ち上げたい ・フリマやワークショップを開催する。 ・道路に植樹、植栽(花、アジサイなど)して海岸線沿いの景観アップにつながる取り組みを行う ・地域行事として日程を決める(漁協や自治会など協力) ・海岸清掃 ・プラ類の回収。 ・広報などで行事の実施日などを住民に修理する(まずは又兵衛からエリアを限定して取り組んでみる)・尾戸のことを知らせるポスターを作る。 ・尾戸小学校を利用して、お店やカフェをする ・尾戸のいいところをSNS、等で発信していく ・自然豊かな尾戸に移動動物園を呼ぶ ・子どもを対象とした料理教室を企画する ・鬼火焚きの復活 ・地域外の人も呼び込んで海岸清掃をしたい。 ・まずは、地元の交流を活性化(おまつり、花火大会、敬老会など) ・尾戸の魅力を活かした体験型イベントをする(農業、漁業、キャンプなど) ・コロナでもできることをやる ・キャンプ場など自然を活かす
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が悪い(不便) ・バスの本数が少ない ・交通の便(老後にむかって買い物、病院通いが心配) ・バスの時間帯が利用しにくい(子供中心となっている) ・コミュニティバスがあれば良いが…他の地区では運行されているのに、尾戸ではなぜ運行できないのか? ・デマンドタクシーが使いつらい(片道300円) ・自分(保護者)が体調が悪いときに、子どものお迎えに困ったことがあった。 ・通常のバスの運行後にも、子ども達を送るスクールバスを運行してほしい。 ・インターネットが圏外(ドコモ)名串～小口 ・買い物が不便・街灯が少ない ・店がない ・野菜を直売所に持っていくシステムがほしい(高齢者持っていけない) ・運転マナーが悪い人がいる(ゴルフ)地区外の人 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスの創設 ・宅配、宅医 ・暮らしやすく長生きを目指し若者が帰ってくる”まち” 	<ul style="list-style-type: none"> ・配達業務をしている店がある ・中村ショッピングセンター 3,000円以上配達あり ・味彩市-金額制限なし(みんなに周知していく) ・デイサービスでの買い物支援 ・交通安全の看板をつくる ・地元車優先→更につくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・尾戸大橋。夢、希望、笑顔⇒目標 ・輪番制で自家用車を出す ・交流入口を増やす工夫をする ・配達業務をしている店を周知する!(中村ストアなど) ・デイサービスの車の利用 ・デイサービスの買い物支援サービスの周知 ・コミュニティバスが通ることで高齢者の行動範囲が広がる→行政に要請していく ※宅老所開設時は送迎付き⇒空いた時間帯で地域住民の買い物支援に協力する、助成金があれば嬉しいなア〜♡ 白タク運営すること(運用試験をする) ・乗用車を借り上げて補助金として車の維持管理費を出す。・インフラ整備(災害時の復旧がどうしても遅い) ・インターネットが繋がりがやすくなれば、そのような地区の魅力を手軽に紹介できる ・街灯をつける・地域外の人も呼び込んで海岸清掃をしたい。・ゴミ拾いをする
高齢者福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者サロンに参加したいが自分で会場まで行けない ・高齢者サロンの世話人が高齢化している(解散に至ったサロンがある) ・家の間の距離がはなれてる ・バスの便が少ない ・買い物行くのが大変 	<ul style="list-style-type: none"> ・目指せ子供に戻る宅老所開設 	<ul style="list-style-type: none"> ・琴海病院の送迎 ・個人間でのサロンへの送迎 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者サロンの日に送迎の車があれば参加者が増すから良いのだが? ・高齢者サロンのバリアフリー化について地元の人との協力を得る(材料代が欲しい) ・琴海病院の送迎を周知する。・独居老人をカメラで見守る体制の整備 ・乗り合いの車をつくる ・旧小学校をサロンの場所に ・高齢者と子どものふれあい ・サロンと一緒にとくし丸に来てもらう ・移動が難しい方の現状把握(日中なにしてる?)
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・自然豊か・景色がいい! ・星空が綺麗 ・尾戸の美しい景観が活用されていない ・桜が綺麗 ・イノシシが出る ・自然が良く住みやすい。(静か、恵まれている) ・尾戸小、海の家管理が大変・荒廃農地が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・山と海の自然との共存 	<ul style="list-style-type: none"> 海岸清掃(漁協) 	<ul style="list-style-type: none"> ・スナメリウォッチング・記念樹(桜の木)を植える ・小学校を活用したい(小学校の管理) ・海の家を活用したい ・有志で草刈りの実施 ・空き家提供の情報発信 ・花を増やす ・市民農園などを作って休耕地を再利用する ・野生動物を駆除できる有資格者を増やす ・特産品をつくる ・野生動物の駆除を事業としてできるような仕組みづくり ・尾戸小の草とりにヤギを入れる ・自然を活かして、山道ウォーキングを開催する。 ・尾戸の美しい景色の風景画や写真を募集して他地域にアピールする。
防犯防災	<ul style="list-style-type: none"> ・尾戸人のまとまり。安心・安全 ・避難所の整備や距離の問題(尾戸小学校) ・避難所が遠くて行けない ・お年寄り(一人暮らしを含む)等のサポートがない ・高齢者の安否確認問題(見守り困難) ・消防団員が少ない。詰め所が古い(建て替えが必要) 	<ul style="list-style-type: none"> ・皆が顔みしりの町をつくる ・災害時に皆でサポートできる町づくりを行う ・安全安心 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団の防災の取り組み ・毎月19日、消防団による夜警 	<ul style="list-style-type: none"> ・集まりやすい避難所の確保 ・地域の人々が密な交流できる取り組み ・各地区公民館(非常食を置く) ・尾戸小の整備(グラウンドの草刈など) ・防犯カメラの設置(不審車両の把握など) ・子供達の送迎やゴミ捨てに合わせ、お年寄りの見回りも行う ・消防団員が各家庭を回って防犯・防災を呼びかけ、併せて団への加入を呼びかける ・見えない車、人がいないか気がける・草木の手入れ ・イノシシの駆除(夜、道路にいて危ない) ・街灯を増やす(メイン道路)
子ども・子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が遠い ・公園が少ない ・子どもがのびのび遊べる ・近くに病院がないので、けがをしたときに遠くまで行かないといけない ・子どもが少ないことで、子ども会がなくなったり、親と親のかかわりが少なくなってきた。 ・あいさつを返してくれない子がいる。 ・子ども会がない・交流がない(子どもやUターンで新たに入ってくる人との) ・部活動で忙しく、子どもが参加するのが難しい。 ・イベントに携わる人の負担が大きい(人が少ない) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然豊かな尾戸に子どもたちがたくさん来てくれる 	<ul style="list-style-type: none"> ・尾戸くんち(コロナでこの3年中止) ・豆まき(以前は子供会で開催していた) 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会を立ち上げたい ・子どもと交流する機会等を設け、顔見知りになる。 ・子どもが遊べる場所の確保 ・海の体験活動(磯遊び、宿泊学習) ・ゴルフ場を借りてイベントを行う ・子供会がある地区は存続させていく ・季節ごとにイベント ・子どもたちが集まれる場所(公園)がほしい ・春:さくら 夏:海の家、ペーロン 秋:彼岸花 冬:ハッピーテラス、イルミネーションを楽しむ ・他の団体とのコラボイベント(漁協と海岸清掃) ・海そうじの後に交流会をする ・海の家を地域の拠点に(人が集まる場) ・Uターン、Uターン、移住者の受け入れ(農、水産物のオプション付き) ・尾戸でNPO法人を立ち上げて活動する ・県モルック大会を尾戸で開催